

平成 24 年度 第 1 回 がん相談支援員実務者研修会

研修会概要

開 催 日 時 : 平成 24 年 10 月 5 日 (金) 18 : 00 ~ 19 : 00

テ ー マ : 「こころのリエゾン〜チーム医療に貢献するリエゾン精神医学〜」

講 師 : 保坂 隆 氏
(聖路加国際病院 精神腫瘍科医長、聖路加看護大学 臨床教授)

主 催 : 那覇市立病院
共 催 : 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、沖縄県精神保健福祉士協会
琉球大学医学部附属病院、沖縄県立中部病院

場 所 : 那覇市立病院 3 階講堂

参 加 者 数 : 50 人 (市立病院 : 16 人、院外 : 34 人)

研修会の様子



「平成24年第1回 がん相談支援員実務者研修会」 アンケート結果

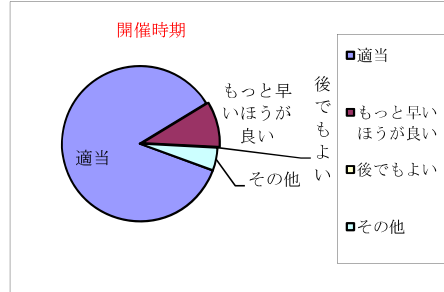
平成24年10月5日（金）

参加者50名（アンケート記載42件：84％）

1. 開催時期は適当でしたか？

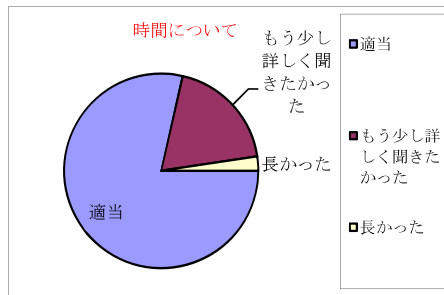
適当	36
もっと早いほうが良い	4
後でもよい	0
その他	2

- ・就業時間が17時30分迄なので平日であればせめて18時30分としてほしい。
- ・開始時間を30分程遅くしていただいた方が参加しやすいと思います。
- ・開催時刻ですが、仕事の後だと19時からが遅刻せずに参加できるのかと思います。
- ・開始時間が早いのでできれば18:30だとよかったです。
- ・18:00スタートは就業が17:30の為早すぎました。



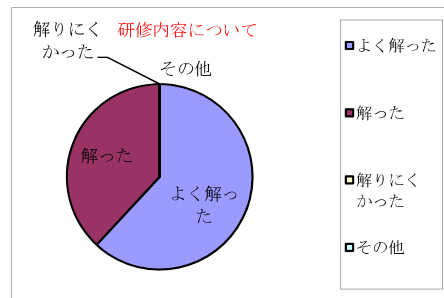
2. 時間については？

適当	33
もう少し詳しく聞きたかった	8
長かった	1



3. 研修内容について

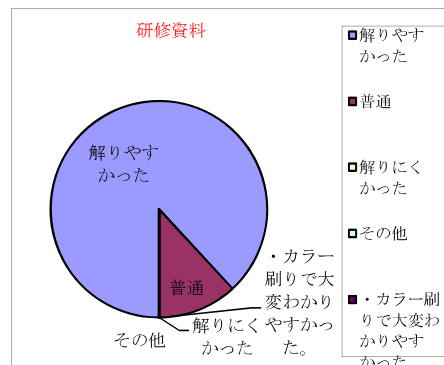
よく解った	26
解った	16
解りにくかった	0
その他	0
・少し解った	



4. 研修資料はどうでしたか？

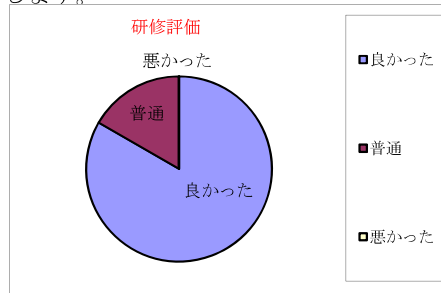
解りやすかった	37
普通	5
解りにくかった	0
その他	0

- ・カラー刷りで大変わかりやすかった。



5. 今回の研修全般について評価をお願いします。

良かった	35
普通	7
悪かった	0



6. 受講しての感想、感じたことなどをご自由にご記入ください。

- ・リエゾンについての理解が深まりました。
外に出ていくことをもっと積極的にしていこうと思いました。
パワーがもらえました。ありがとうございました。
- ・リエゾン精神学に関し十分に理解する事ができた。当院においても（総合HP）常に医師が精神科医の配属を強く訴えているが、今回の内容を報告し確認してみたいと思う。
- ・リエゾンが予防的に関わることだとわかった。
とても勉強になりました。今後院内でも取り組んでいきたいと思います。
- ・リエゾンの重要性を認識できた。精神科のみならず、他科でもリエゾンの考え方が必要だと思う。
- ・大変わかりやすく良かった。
- ・保坂先生には、リエゾン精神医学を分かりやすく説明していただきました。又、アドレスシブな姿勢は勉強になりました。
リエゾンチームが病院にあれば患者さんにとってもスタッフにとっても質の高い医療が実施できると思いました。
- ・初めて聞く言葉も多くて新鮮だった。
- ・わかりやすかったです。
- ・メンタルでのフォローでの重要性を理解できた。
- ・「リエゾン」という役割について、少し理解できました。
- ・現場での実際の内容があまり具体的でイメージしやすかった。
理想ではなくリエゾンが現実になるよう活用したい。
- ・自分が普段行っている業務（精神科で身体科からの紹介受け入れ）もリエゾンに大いに関係しているものだとすることを初めて知りました。
総合病院などでは、特にその有効性を感じましたが、例えば、精神科単科の病院としてそれをもっと実務の中でどう生かしていけるのかと考えさせられた。
- ・院内（入院患者のことや外来）と在宅も含めて患者と医療者に生じるズレがないようリエゾン機能を重要視して欲しいと感じた。医療サービス・質ともに向上すると思います。精神症状が予防できて入院の在院日数が減少するというデータもあるので病院の利益も向上するということがわかった。
- ・とてもわかりやすく参考になりました。ありがとうございます。
久しぶりに保坂先生のお話が聞け良かったです。
- ・開始時間があと30分程度遅い方が参加しやすいです。

7. 今後、開催してほしい研修などがあればご記入下さい。

- ・薬の使い方、等
- ・リエゾンの具体的な関わり方について
- ・漠然とではありますが、リエゾンという言葉を知り勉強させてもらいとても良かったです。
- ・リエゾンナースに実際の相談実務をケースからレクチャーしていただきたい。
- ・リエゾンナースの実際が知りたい（活動内容やどのようにリエゾンナースが出来るのか）。

こころのリエゾン

～チーム医療に貢献するリエゾン精神医学～

リエゾンとは連携とか連絡の意味で、リエゾン精神医学とは精神科医が精神科の外来や病院・病棟だけにとどまらず、さまざまな臨床各科との密接で定期的な連携をとりながらチーム医療に貢献する臨床形態をいいます。

一般病棟における患者さんのせん妄や抑うつといった精神状態を把握し、早期に精神科専門医療を提供することにより、症状の緩和や早期退院を促進する等、リエゾン・コンサルテーション活動の実際をお話します。

講 師：保坂 隆 氏

聖路加国際病院 精神腫瘍科医長

聖路加看護大学 臨床教授

日 時：2012（平成24）年10月5日（金）

17：30～受付、18：00～19：30

場 所：那覇市立病院 3階講堂

参加費：無料、申し込み不要

主催：地域がん診療連携拠点病院 那覇市立病院

沖縄県がん診療連携協議会 相談支援部会

共催：一般社団法人 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

一般社団法人 沖縄県精神保健福祉士協会

*お問い合わせ先：那覇市立病院 総合相談センター

098-884-5111（内線127）

平成 24 年度 第 2 回 がん相談支援員実務者研修会

研修会概要

開 催 日 時 : 平成 24 年 11 月 21 日 (水) 14 : 00 ~ 15 : 00

テ ー マ : 「がん患者の休業補償」

講 師 : 大城 恒彦 氏
(オーシャン事務所 社会保険労務士・行政書士・産業カウンセラー)

主 催 : 琉球大学医学部附属病院
共 催 : 沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会、那覇市立病院、
沖縄県立中部病院

場 所 : 琉球大学医学部臨床研究棟 1 階 大学院大セミナー室

参 加 者 数 : 29 人

研修会参加者 ※ 参加者は全てソーシャルワーカー

がん診療機能別	人数
がん診療拠点病院	8 人
その他の医療機関	21 人
合 計	29 人

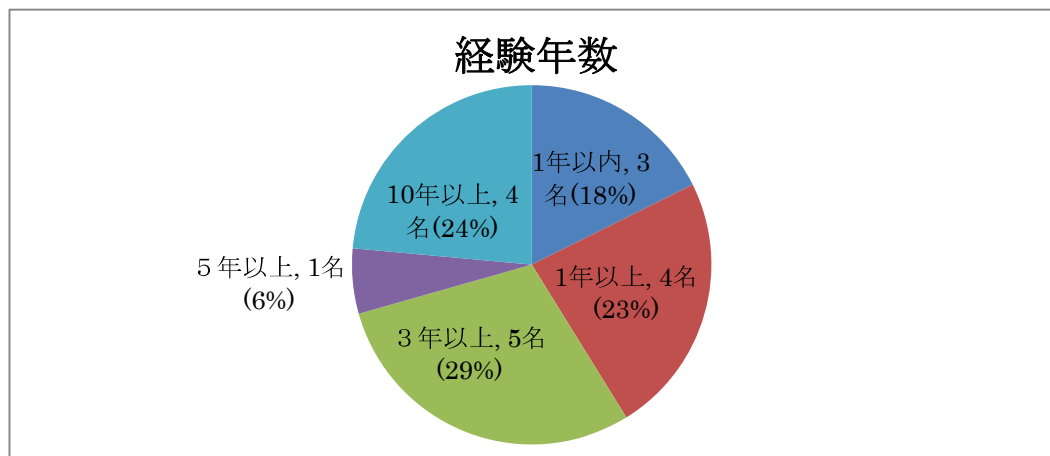
医療機能別	人数
一般	24 人
回復期リハ	2 人
その他	3 人
合計	29 人

研修会の様子

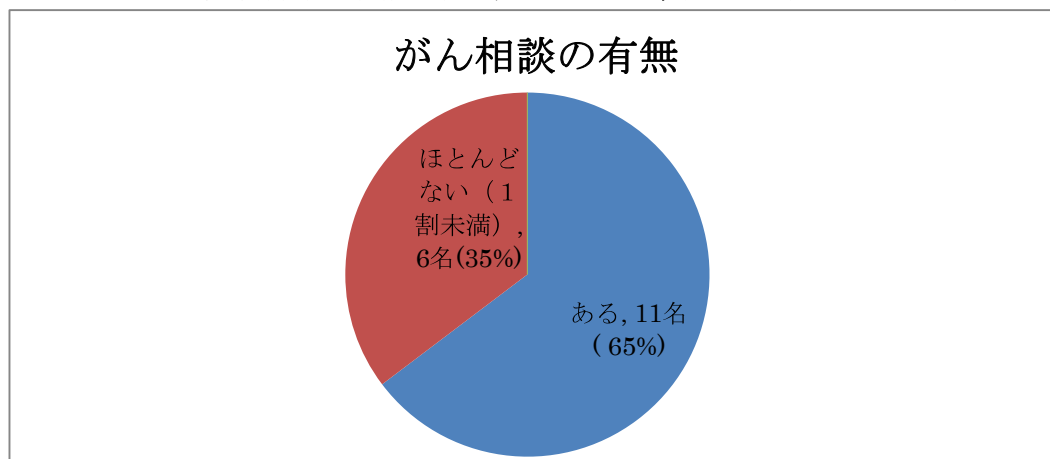


1. 研修会アンケート結果（回答者 17 名）

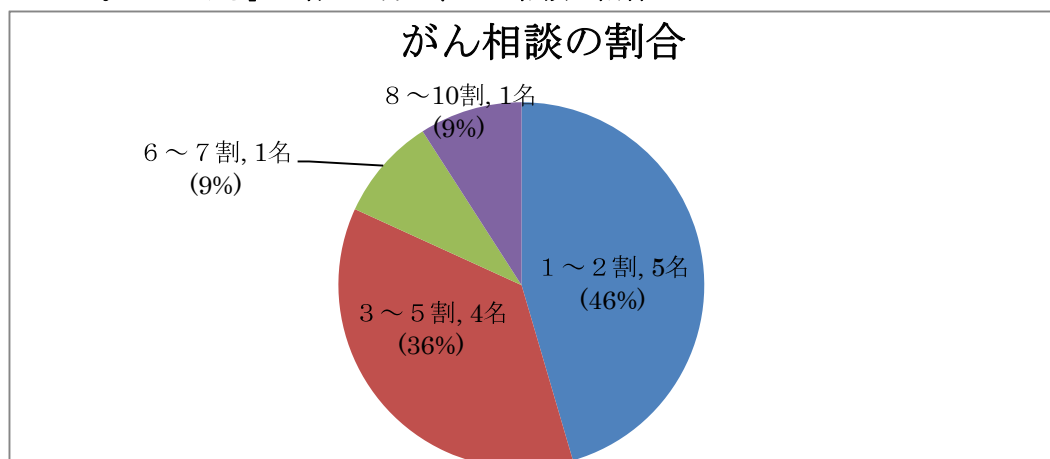
Q 1. これまでの相談業務の経験年数について教えてください。



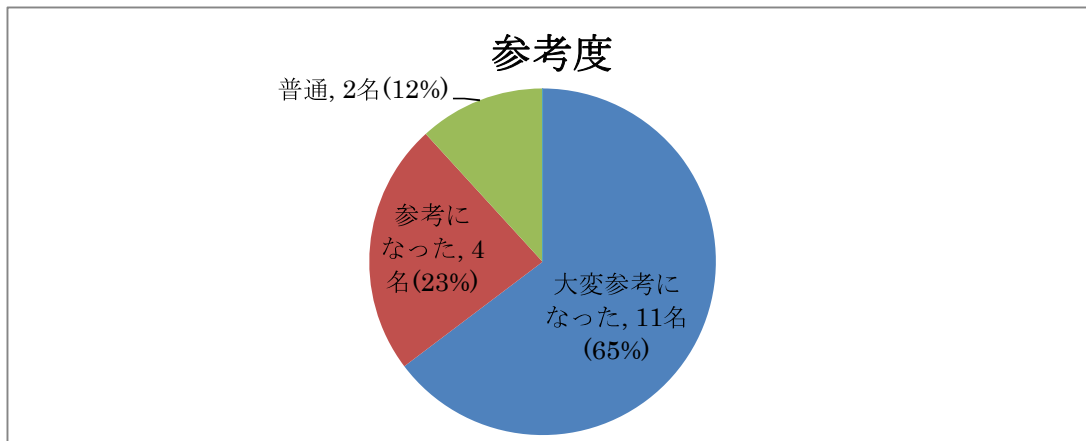
Q 2. あなたの年間新規相談件数のうち、がん患者・家族からの相談はありますか？



Q 2で「ある」と答えた方の、がん相談の割合



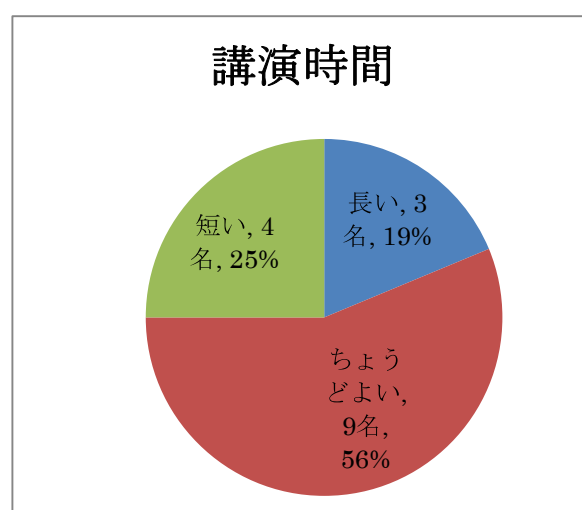
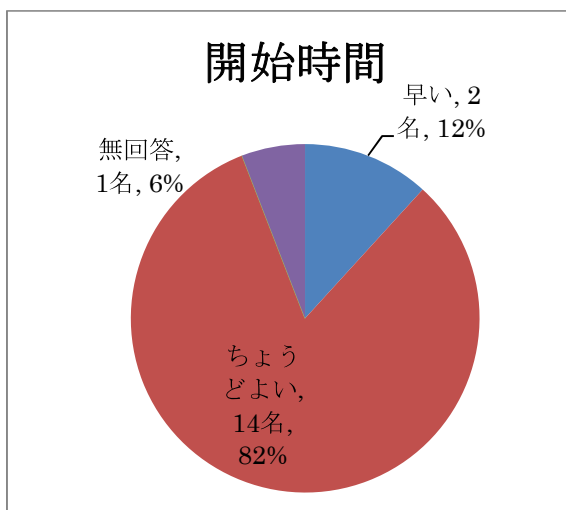
Q 3. 本日の研修は参考になりましたか？



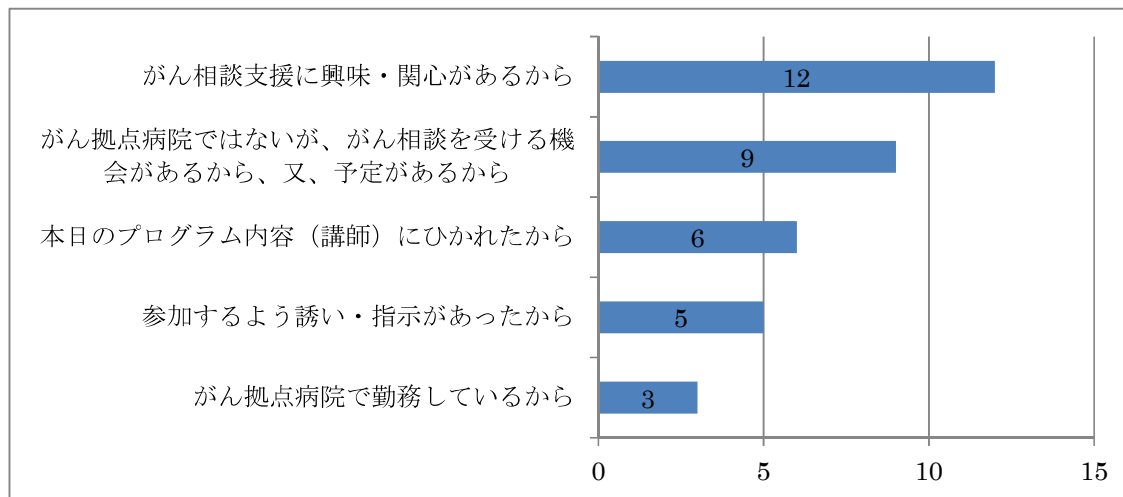
Q 4. 研修会の内容で参考になったこと、また内容についてご意見があれば教えてください。

- ・レジュメが分かりにくい。どこの説明をしているのか分かりづらかった。
- ・障害年金の制度は複雑で分かりにくいため、細かい事例があり分かりやすかった。
- ・遺族年金について、併合認定について、初診日について
- ・健康診断でも初診日になること
- ・がん患者さんでも障害年金がもらえる事を初めて知りました。具体的な例でとても勉強になりました。

Q 5. 研修時間について、いかがでしたか。



Q 6. 研修会に参加された動機について教えてください。(複数回答可)



Q 7. 今後、研修会で取り上げてほしいテーマがあれば教えてください

- ・在宅看取り
- ・告知に関すること
- ・事例検討会、就労
- ・がん患者の介護保険、訪問看護、訪問診療について
- ・民間保険なども知りたい。

平成24年度 第2回 沖縄県がん相談支援員実務者研修会



テーマ： 『がん患者の休業補償』

講師：大城 恒彦氏（オーシャン事務所 社会保険労務士・行政書士）

対象：地域がん診療連携拠点病院相談支援センター職員

医療機関等でがん相談支援業務に携わるMSW等

日時：平成24年11月21日（水）14：00～15：00

場所：琉球大学医学部附属病院大学院大セミナー室

裏面の地図をご参照ください

※駐車場は外来駐車場をご利用ください。

駐車された際には、駐車券をご持参下さい（無料駐車券をお渡しします）

主催：琉球大学医学部附属病院
沖縄県がん診療連携協議会相談支援部会
共催：沖縄県立中部病院、那覇市立病院、
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会